

報道関係者各位

会社名 株式会社カプコン
 代表者名 代表取締役社長 辻本春弘
 (コード番号：9697 東証第1部)
 連絡先 広報 IR 室
 電話番号 (06)6920-3623

**2019年3月期第1四半期の連結業績は、
 前年同期比で売上高46.5%増、営業利益550.8%増と増収増益**

～ 四半期決算の開示以来過去最高となる営業利益を記録し、6期連続営業増益かつ最高益を目指す ～

株式会社カプコンの2019年3月期第1四半期連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)は、売上高172億04百万円(前年同期比46.5%増)、営業利益51億06百万円(前年同期比550.8%増)、経常利益54億92百万円(前年同期比610.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億03百万円(前年同期比648.6%増)、となりました。

当第1四半期は、近年安定して成長を続けるデジタルコンテンツ事業において、前年度に投入した『モンスターハンター:ワールド』がユーザー層の拡大により人気を持続し、累計830万本に到達したほか、新作『ストリートファイター 30th アニバーサリーコレクション』が計画を上回り健闘しました。また、利益率が高いリピートタイトルが堅調に販売を伸長する等、同事業が収益を牽引した結果、第1四半期決算としては過去最高の営業利益を記録しました。

なお、2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月8日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

1. 2019年3月期第1四半期 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期第1四半期	17,204	5,106	5,492	3,903
2018年3月期第1四半期	11,746	784	772	521

2. 2019年3月期 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2019年3月期	96,000	17,000	16,500	12,000	109.60

3. 2019年3月期第1四半期 各事業セグメントの概況

(1) デジタルコンテンツ事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上高	7,688	13,782	79.3%
営業利益	1,676	5,735	242.2%
営業利益率	21.8%	41.6%	-

- ① 当事業におきましては、前期に快進撃を続けた『モンスターハンター:ワールド』(プレイステーション 4、Xbox One 用)がユーザー層の拡大により人気が続いたほか、ワールドワイドで大ヒットを放ったことによる国際ブランドの確立により IP 基盤が拡充いたしました。また、海外で発売した新作タイトルの『ストリートファイター 30th アニバーサリーコレクション』(プレイステーション 4、Nintendo Switch、Xbox One、パソコン用)が健闘したほか、Nintendo Switch 向け『ロックマン クラシックス コレクション』、『ロックマン クラシックス コレクション 2』および『ロックマン クラシックス コレクション 1+2』も固定ファンや根強いブランド力により底堅い売行きを示しました。
- ② 加えて、利益率が高いリピートタイトルが堅調に販売を伸ばし、収益向上に寄与いたしました。さらに、将来の多様なデジタルコンテンツ展開を見据えて『バイオハザード 7 レジデント イービル クラウドバージョン』(Nintendo Switch 用)のストリーミング配信を開始いたしました。
- ③ この結果、売上高は 137 億 82 百万円(前年同期比 79.3%増)、営業利益 57 億 35 百万円(前年同期比 242.2%増)となりました。

(2) アミューズメント施設事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上高	2,245	2,381	6.0%
営業利益	128	143	12.1%
営業利益率	5.7%	6.0%	-

- ① 当事業におきましては、「安・近・短」の身近な娯楽施設として回復基調のもと、多様な顧客に対応したゲーム機の設置や各種イベントの開催、快適な店舗運営など地域密着型の集客展開により顧客の囲い込みや需要の掘り起こしに努めてまいりました。
- ② 新規出店といたしましては、広島県に 1 店舗オープンしましたので、施設数は 37 店舗となっております。
- ③ この結果、売上高は 23 億 81 百万円(前年同期比 6.0%増)、営業利益 1 億 43 百万円(前年同期比 12.1%増)となりました。

(3) アミューズメント機器事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上高	1,396	376	△73.1%
営業利益	△229	△154	-
営業利益率	-	-	-

- ① パチスロ機部門は、市況軟化のもと『大神～回胴編～』を発売したものの、消費マインドの低下や施設オペレーターへの投資抑制などにより、需要は減退し伸び悩みました。
- ② また、業務用機器部門につきましても商材不足により終始苦戦を強いられるなど、同事業は全体として軟調に推移いたしました。
- ③ この結果、売上高は3億76百万円(前年同期比73.1%減)、営業損失1億54百万円(前年同期は営業損失2億29百万円)となりました。

(4) その他事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上高	415	664	59.9%
営業利益	184	411	122.6%
営業利益率	44.3%	61.9%	-

その他事業につきましては、主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は6億64百万円(前年同期比59.9%増)、営業利益4億11百万円(前年同期比122.6%増)となりました。